

まちづくり部会

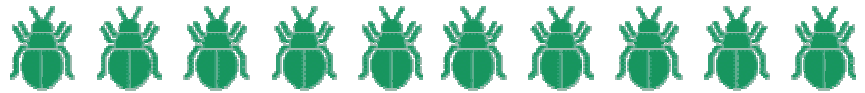


「枚方のまちを知る」香里団地をタウンウォッチング

フィールドワーク：11月25日（土）午後、久しぶりのフィールドワークとして、枚方の街を知るためのタウンウォッチングを実施しました。光善寺駅をスタートし、サダ神社と鎮守の森、森を抜けると突然現れる幅16mの都計道路が100m、そして丘陵の雑木林。二つの公園を経て香里団地へ。特別に参加していただいた元住宅都市整備公団の小西氏から団地の過去現在未来を話していただき、以楽公園、けやき通り、こもれび水路を見て歩きました。枚方市もまだまだ、緑・自然が残っています。残したい緑・自然、守り育てたい緑・自然について考えさせられる意義深いフィールドワークでした。

次回は、フィールドワーク最終回として、3月中旬に東部地域をウォッチングする予定です。決まり次第ご案内いたします。奮ってご参加ください。

環境教育サポート部会



好評！長尾小学校での環境出前授業

長尾小学校では平成17年度から環境出前授業を受け入れていただき、初年度は6年生4クラス計8時限、平成18年度は4～6年生12クラス計24時限の授業を行い、市内の学校で最多の実績を挙げることができました。授業内容・実施日時は、事前に学校の先生と打ちあわせを行い決めています。実施した内容は、「エネルギーを作ろう」、「上着の話」、「風呂敷」、「酸性雨の実験」等で、発電用自転車、手作りの各種実験装置等を教室に持ち込んで部会員が講師となり講義や実験等の授業を行いました。毎回数名の地元サポータの協力を得て、昼食は児童と一緒に教室で給食をいただきながら楽しくやっています。先生、児童の評価は概ね好評でした。



運営委員会



安全な地場野菜で地産地消の循環型社会の達成を

中国野菜の残留農薬が問題となり、食の安全が叫ばれるようになりました。枚方では穂谷地区を中心として地場産の米や野菜が生産販売されています。また、多くの市民が家庭菜園を楽しんでいます。しかし、完全無農薬栽培は難しく減農薬栽培が現実です。

運営委員会の「枚方地産地消プロジェクトチーム」は、完全無農薬栽培の実践的研究により枚



方に無農薬栽培技術を普及し、市民が安全な地場野菜を地場で入手できるようになればと志しています。更に生ごみをたい肥化し活用できれば、枚方内で地産地消の循環型社会が達成できます。すでに、白菜や大根、かぶら、ほうれん草、小松菜などの無農薬生産販売が始まっています。無農薬栽培に興味のある方、無農薬野菜を入手したい方、生ごみのたい肥化など循環型社会の構築に興味のある方の参加をお待ちしています。



まちづくり部会のフィールドワークを
環境教育サポート部会員がレポートしました。



いろいろな環境活動があることを再確認すると共に、枚方のまちをもっとよくしていくには、更なるネットワークが必要であると感じました。

（環境教育サポート部会員・橋田、沼本、小篠）

環境活動のいろいろと更なるネットワークの必要性を再確認
知っているようで知らない近所を再発見し、よりよいまちづくりを目指している、まちづくり部会の活動をレポートして、

里団地をコースとして、途中、淀見公園等で元住宅都市整備公団（現都市再生機構）の方のお話を聞きながらの道のりとなりました。そのお話の中で見せていただいた香里団地開発当時の写真からは、当時のまちづくりの大切さが感じられ、次世代のことを考えたまちづくりの大変さが改めて考えさせられました。香里団地は元々の地形を残して開発したとのことで、歩いていてまず坂のきつさを感じました。そして公園が多いこと。一つひとつの公園はどれも違う顔をもっていて、憩いの場としてそれぞれの役目をしているようでした。

香里団地周辺をタウンウォッチング
まちづくり部会が平成18年11月25日に実施したフィールドワーク「ひらかたのまちと緑をみる」に参加してきました。ケヤキや南京はげの色付く街を歩く、楽しいタウンウォッチングになりました。
次世代のことを考えたまちづくりとは
京阪光善寺駅に集合し、サダ神社、香



ひらかたエコフォーラム2007

～地縁コミュニティとテーマコミュニティの連携～

平成19年

2月3日（土）午前10時～午後4時

会場：メセナひらかた

駐車場がありませんので車でのご来場はご遠慮下さい。



午前の部

環境表彰
学校版環境表彰・こどもエコクラブの表彰及び発表

午後の部

基調講演
「地域環境保全へのコミュニティの役割」
パネルディスカッション
「地域コミュニティにおける環境保全活動」
ネットワーク会議活動状況紹介等

終日

パネル展示
学校園・里山保全・グリーンコンシューマーの取組み紹介
ブース展示
市民活動団体・企業等の環境活動紹介

同時開催

午前10時～午後12時
ひらかた環境くらわんか塾第8回講座
午後1時30分～午後4時30分
第2期ひらかた自然エネルギー学校第7回講座

主催：特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議、枚方市、枚方市教育委員会、環境省きんき環境館

イベント&募集 お知らせ コーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。
072・847・2286

事務局の仕事をお手伝いして

いただける方を募集します！

事務局では、ネットワーク会議のHP更新作業や、3ヶ月に1回の会報誌発行作業等をお手伝いしていただける方を募集しています。作業内容は「PC操作」から「印刷」、「封筒入れ」、「宛名ラベル貼り」まで可能な範囲でお願いします。お申込・お問合せ等、詳細は事務局までご連絡下さい。

*** ** **

作業時期：HP更新作業・・・随時

会報発行作業・・・3ヶ月に1回

(作業内容により要日数や作業日が異なります。)

ネットワーク会議の会員を募集しています

「ひらかた環境ネットワーク会議」に参加し、活動を支える会員を、市民(個人、団体、サークル、NPO)、事業者から広く募集しています。

入会を希望される方は、電話・FAX、Eメールで、事務局までお申込みください。

「ひらかたNPOフェスタ 2006」 に参加しました。

10月22日にサプリ村野で開催された「NPOフェスタ 2006」に参加しました。ネットワーク会議は、ピオト



プ前のテントで焼き鳥と、現在、運営委員会が穂谷区で進めている地産地消プロジェクトの一環として自然農法で栽培した大根、えだ豆を販売しました。

また野外ステージでは、昨年6月のライトダウンキャンペーンで募集した「ライトダウン川



柳」のうち優秀作品4点を、ネットワーク会議会員によるショートコントで発表しました。

このフェスタを通じて、他のNPOの方々との交流も深まり、多くの学びを得るとともに、今後の活動につながる有意義なものとなりました。

** 枚方のレンタサイクル「ひらリン」 **

貸し自転車「ひらリン」によってエコサイクル



枚方市内の各駅で自転車を借りることが出来たら便利ですね！まずは初めの第一歩、牧野でレンタサイクル「ひらリン」の試行を開始しています。貸出自転車は、枚方エコサイクルが資源再生の視点で、放置自転車をリサイクルしたものを使用しています。

ひらリン導入検討会

<運営>NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議

<協力>枚方市、(社)枚方市SPA-人材センター、京阪電気鉄道(株)、枚方エコサイクル、北河内連合市民懇話会

試行期間：平成18年11月14日
～平成19年11月13日(年中無休)
貸出返却時間帯：午前6時～午後9時
貸出返却場所：市立牧野東自転車駐車場
料金：1回200円(翌朝10時まで)
貸出自転車：20インチ～26インチ
利用資格：安全に自転車の走行が可能で、本人である証明ができる方
月々2,000円でお得な定期利用も申込み受付中！
定期利用のお申込みは事務局までお電話下さい(先着10名様)。

会員数 189名：正会員 157名(個人129、非営利団体19、営利団体9)

賛助会員 32名(個人31、非営利団体0、営利団体1)

平成19年1月1日現在

団体紹介 コーナー

NPO法人



「エコ・スマイルひらかた」
村野工房の皆さん

理事長：吉田 忠雄

所在地：枚方市村野西町 5-1 サプリ村野内

電話 & Fax：072-805-0103

EM等たい肥化連絡会として発足：2000年 9月

エコ・スマイルひらかたに改称：2002年 11月

NPO法人認証取得：2003年 4月

「EMほかしによる生ごみたい肥化」を通じて「枚方市ごみ減量化推進」に貢献

焼却ごみ減量・環境浄化推進を支援

「エコ・スマイルひらかた」は、家庭から出る生ごみを有用微生物群（EM）等を活用して醗酵させ、土に還し（たい肥化）、「焼却ごみを減量・環境浄化を推進」する市民の方々を支援する活動をしています。生ごみをたい肥化しようとされる方、化学肥料や農薬をあまり使いたくない方々は、誰でもが自由に利用できる団体です。昨今、家庭菜園やベランダ園芸が盛んになり、多くの方々が競い合って取り組んでおられます。しかし、大半の方々は安易に化学肥料や農薬を購入し、その功罪についての知識に乏しいまま必要以上に撒布され、これらは雨水と共に流出して河川の水質悪化や環境汚染の一因となっています。エコ・スマイルひらかたは、化学肥料や農薬の使用を少なくする為に、醗酵肥料や害虫忌避剤の製造等の指導も致しております。

市民の皆さん、お気軽にご利用下さい。

～環境問題と食の安全の願い～

“ごみ処理は無料”と考える人に自己負担でごみを処理し市政方針のごみ減量に貢献するという意識を持ってもらうこと、「無農薬・有機栽培野菜が食の安全と環境を守ること」など、こうした使命感や意識が広まることを願いながら活動してきました。社会一般にもそうした情報が広まり、おかげで我々の活動にも理解と協力をいただける方が増えています。環境問題と食の安全の解決に向かって頑張りたいと思います。

理事長 吉田 忠雄

環境ネットワーク会議への参加

枚方市の「食の市内循環：地産地消システム」の構築に関して、生ごみたい肥化の分野で協力しています。EMを活用したたい肥づくりなど、環境にやさしい有機栽培の拡大に向けてノウハウを提供します。

編集後記

明けましておめでとうございます。今年の干支は猪年ですね。丁亥（ひのとい）猪突猛進、走り出したら止まらない等々といわれるように、十二支の中で猪年は、人間社会にとって強気な社会が予感される年であります。しかし、そんな年であるからこそ一歩立ち止まって考えるということも大事だと考えます。今年も環境問題にはじっくりと取り組んでいきたいものですね。最後になりましたが、今年も会員の皆様と楽しく環境保全活動が出来るように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。（小篠 記）

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第12号

平成19年1月1日発行（年4回発行）

発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サプリ村野内（旧村野小学校）

電話 072-847-2286

FAX 072-847-2286

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyou.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyou.net>

発行責任者：谷崎 利男

編集責任者：廣田 武司



古紙比率100%再生紙を使用しています
白色版はリサイクルです

この会報誌は古紙再生紙を使用しています。